



令和7年9月1日（月）
都立墨田特別支援学校 長
深谷 純一

今日から2学期が始まりました。夏休みの間、とても静かだった学校に子どもたちの声が響き渡っていました。

2学期は宿泊学習や校外学習、文化祭等多くの行事が予定されています。日々の学習や経験がさらなる成長につながるよう、規則正しい生活や感染症予防を心がけ、体調に気を付けて過ごしましょう。

9月9日は 救急の日

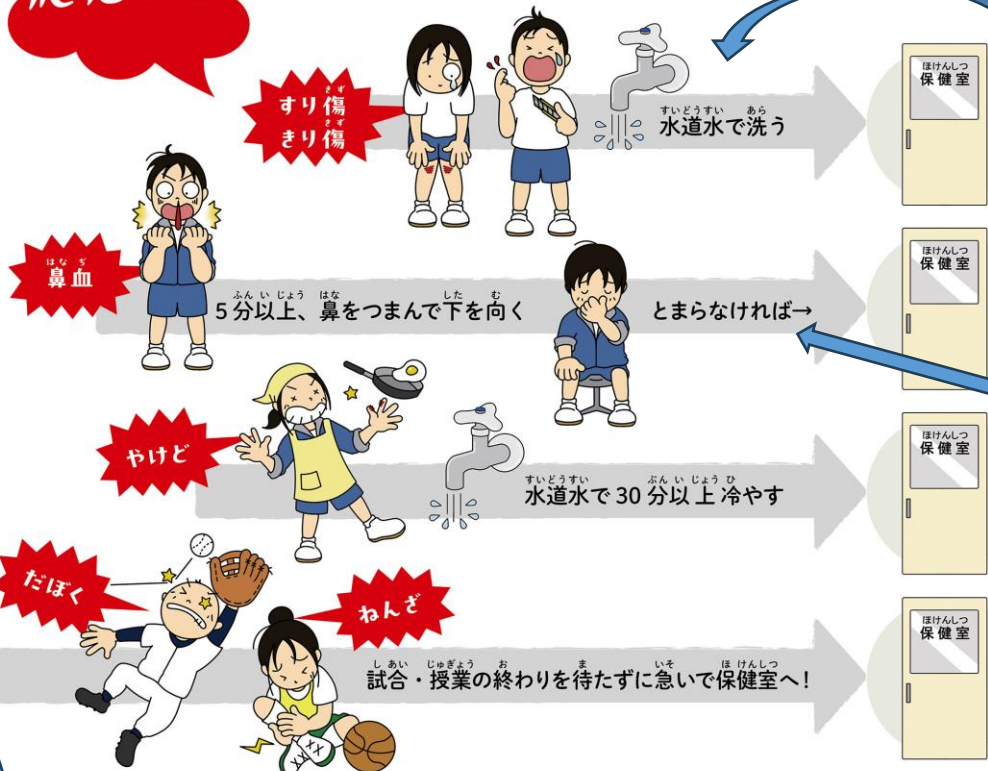
日付の語呂合わせからこの日に制定されました。
応急手当を行うことで、痛みの軽減やけがの悪化を防ぐことができます。

実は、自分でできる応急処置があります。けがをしたら、なるべく早く応急処置をすると、より痛みの軽減やけがの悪化防止につながります。下の項目を参考に自分でできそうなことがあったらやってみましょう。



応急手当

保健室へ行く前に できることはないかな？



傷口に付いた異物（砂など）やバイ菌を洗い流すことで、感染のリスクを減らします。
血が出ている場合、ハンカチなどで押さえましょう。

ティッシュペーパーを鼻の穴に詰めるのは避けましょう。
傷口にくっつき、取ったときにかさぶたがはがれて、再び出血することがあります。

今年度、実際に、部活動で打撲したが、その時は痛くなかったので、顧問の先生に言わず、そのまま帰宅。その後、痛くなったケースがありました。打撲や捻挫は、けがをしてからすぐ冷やすと痛みや腫れの悪化を防ぐことができます。

判断に迷ったら・・・

急な病気やけがで医療機関に行くか迷った時は、以下の相談窓口を利用することができます。
もしもの時のために覚えておくと便利です。

救急安心センター事業 (#7119)

救急車を呼ぶべきか判断に迷ったとき、専門家からアドバイスを求められる電話相談窓口です。
24時間365日受け付けています。

子ども医療電話相談事業 (#8000)

休日や夜間に子どもが急に病気になったとき、どう対応したらよいか相談できる全国共通の電話番号です。
平日は18時～翌日8時、土・日・祝日は8時～翌日8時まで受け付けてます。

全国版救急受診アプリ

「Q助（きゅーすけ）」
急な病気やけがをしたとき、症状の緊急度を素早く判断するために、消防庁がウェブ版とスマホ版で提供しているアプリです。

第1回学校保健委員会報告

7月16日（水）に今年度第1回学校保健委員会を開催しました。学校医、学校薬剤師、PTA代表の方に御参加いただき、定期健康診断をはじめとする1学期の学校保健に関する報告を行い、参加いただいた方々と意見交換をいたしました。いただいた御意見を今後の学校保健に生かしていきたいと思います。

【今回の委員会で意見交換された内容の一部を御紹介します。】

障害特性から医療機関受診が苦手な子どもの対応について

→学校で行う定期健康診断はよい機会であり、毎年受診することで経験を積み重ねることができる。
教員も事前指導を行い、子どもたちがスムーズに受診できるよう工夫している。

学校におけるアクシデント対応に伴う、医療機関受診等の判断に迷う場合について

→その後の経過をしっかりと見ることができ、おかしいと思ったら受診する等の状況が整っていればよいが、難しいと感じる場合は受診しておく方がよいのではないかな。

お知らせ・お願い

【健康相談実施日について】

9月10日（水）、10月8日（水）午前中

本校では毎月1回、精神科学校医による健康相談を行っています（予約制）。健康で落ち着いた学校生活を送ることができるように、医学的な立場から助言をいただいています。相談を希望される方は、担任または保健室までお知らせください。

精神科学校医：荻野 耕平先生（五和貴診療所）

【衛生物品の持参について】

けがや肌トラブル等の理由で、一定期間、ばんそうこうやガーゼ等による保護が必要となり、これらを貼って登校する場合があるかと思えます。その際、授業中にはがれたり、汚れたりした時に速やかに交換ができるよう、御家庭から必要な衛生物品（留めるためのテープ等も含む）を持参いただきますよう御協力をお願いします。